

テーマ：貿易統計（2011年12月）

発表日：2012年1月25日（水）

～当面、貿易赤字が継続する見込み。10-12月期のGDPはマイナス成長の可能性大～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

| | 貿易収支(億円) | | | | 輸出数量 | | | | | | 輸入数量 | | |
|----|----------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
| | 原数値 | 季調値 | 輸出金額 | 輸入金額 | アメリカ | | | EU | | | アジア | | |
| | | | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| 10 | 1月 | 431 | 5873 | 40.9 | 9.3 | 41.3 | 17.8 | 14.0 | 63.6 | 2.2 | 3.6 | ▲0.5 | 5.6 |
| | 2月 | 6383 | 4762 | 45.3 | 29.8 | 45.9 | 46.1 | 15.4 | 53.4 | 23.0 | 4.5 | 13.7 | 39.5 |
| | 3月 | 9319 | 8582 | 43.4 | 21.0 | 43.9 | 29.4 | 28.2 | 48.9 | 17.0 | 6.3 | 16.5 | 17.6 |
| | 4月 | 7292 | 8944 | 40.4 | 24.5 | 39.6 | 38.2 | 32.3 | 40.6 | 17.7 | 21.2 | 13.1 | 19.8 |
| | 5月 | 3091 | 5247 | 32.1 | 33.7 | 31.8 | 19.3 | 34.6 | 28.2 | 22.3 | 24.7 | 22.2 | 27.5 |
| | 6月 | 6705 | 5023 | 27.7 | 26.5 | 27.4 | 27.4 | 27.0 | 26.6 | 18.1 | 24.9 | 23.5 | 19.2 |
| | 7月 | 7846 | 5375 | 23.5 | 16.1 | 25.5 | 27.5 | 31.5 | 22.9 | 13.9 | 22.0 | 23.9 | 14.3 |
| | 8月 | 638 | 5109 | 15.5 | 18.4 | 14.2 | 11.5 | 26.7 | 14.6 | 19.2 | 18.1 | 16.5 | 20.9 |
| | 9月 | 7743 | 3833 | 14.3 | 10.3 | 16.1 | 17.0 | 29.1 | 14.6 | 10.6 | 7.5 | 10.0 | 13.4 |
| | 10月 | 8126 | 4973 | 7.8 | 8.9 | 5.3 | 9.5 | 11.3 | 5.9 | 5.8 | ▲11.1 | 11.5 | 7.9 |
| | 11月 | 1576 | 4002 | 9.1 | 14.3 | 9.1 | 11.1 | 25.8 | 11.3 | 15.4 | 20.8 | 1.8 | 19.7 |
| | 12月 | 7196 | 4116 | 12.9 | 10.7 | 11.4 | 16.3 | 22.1 | 11.6 | 7.8 | ▲1.9 | 3.1 | 10.7 |
| 11 | 1月 | ▲4794 | 1670 | 1.4 | 12.2 | 2.3 | 14.5 | 13.4 | ▲1.8 | 11.2 | 5.9 | 6.3 | 13.6 |
| | 2月 | 6503 | 4690 | 9.0 | 10.0 | 9.2 | 3.7 | 22.1 | 11.0 | 4.9 | 10.9 | 9.5 | 4.1 |
| | 3月 | 1863 | 809 | ▲2.3 | 12.0 | ▲3.3 | 0.9 | 8.4 | ▲1.1 | 5.5 | 1.6 | ▲5.7 | 14.4 |
| | 4月 | ▲4677 | ▲4259 | ▲12.4 | 9.0 | ▲11.6 | ▲21.2 | ▲8.5 | ▲6.4 | 1.3 | 7.5 | 18.9 | 1.8 |
| | 5月 | ▲8573 | ▲4524 | ▲10.3 | 12.4 | ▲10.8 | ▲9.9 | ▲12.3 | ▲7.9 | 5.5 | 13.7 | 4.7 | 6.1 |
| | 6月 | 673 | ▲2188 | ▲1.6 | 9.8 | ▲2.7 | ▲2.5 | 2.2 | ▲2.5 | 1.7 | ▲1.0 | ▲1.9 | 5.1 |
| | 7月 | 679 | ▲1779 | ▲3.4 | 9.9 | ▲5.3 | ▲5.7 | 1.8 | ▲4.7 | ▲2.6 | ▲4.3 | 2.2 | 0.5 |
| | 8月 | ▲7796 | ▲3367 | 2.8 | 19.2 | 0.9 | 6.1 | 4.2 | ▲1.8 | 6.0 | 12.4 | 9.4 | 8.6 |
| | 9月 | 2939 | ▲1055 | 2.3 | 12.2 | 1.5 | ▲0.4 | 3.2 | ▲2.8 | 1.0 | 3.7 | 9.8 | 0.6 |
| | 10月 | ▲2818 | ▲4970 | ▲3.8 | 17.9 | ▲3.9 | ▲4.7 | ▲2.1 | ▲7.2 | 6.0 | 14.3 | 9.1 | 5.0 |
| | 11月 | ▲6876 | ▲5342 | ▲4.5 | 11.4 | ▲4.4 | ▲3.6 | ▲11.2 | ▲9.5 | ▲1.0 | ▲3.5 | 22.5 | ▲5.5 |
| | 12月 | ▲2051 | ▲5676 | ▲8.0 | 8.1 | ▲6.6 | 2.3 | ▲13.1 | ▲11.1 | ▲0.7 | 6.0 | 4.2 | ▲2.5 |

(出所)財務省「貿易統計」

○ 輸出の低迷が続く

財務省より発表された2011年12月の貿易統計では、輸出金額が前年比▲8.0%と3ヶ月連続で減少し、減少幅も前月の同▲4.5%から拡大した。輸出金額の季節調整値も前月比+0.2%にとどまっており、10月（同▲4.0%）、11月（同▲2.4%）に大きく落ち込んだ後にもかかわらず、戻りは非常に弱い。物価変動の影響を除いた実質輸出（日本銀行試算ベース）では前月比+2.4%程度が見込まれるが、こちらも10月（同▲4.6%）、11月（同▲2.8%）の落ち込みの半分も取り戻せておらず、10-12月期で均せばはっきりとした減少となっている。輸出は6月以降、おおむね横ばい圏内で推移していたが、足元では弱含んでいると言って良いだろう。海外需要の減速やIT需要の低迷、円高による押し下げ圧力の強まり等が輸出を下押ししている。先行きについても状況は厳しい。米国経済が比較的好調に推移していることは好材料だが、欧州経済の悪化が続いていることに加え、中国を初めとする新興国経済についても、景気減速に歯止めがかかる状況には至っておらず、世界経済全体としてみれば鈍化傾向にある。既往の円高による悪影響も持続するだろう。タイの洪水による下振れからのリバウンドは今後期待されるものの、輸出は低調に推移する可能性が高いだろう。

貿易統計の結果を踏まえると、2011年10-12月期のGDPベース実質輸出は前期比▲3.5%と大幅な減少が予想される。輸出は7-9月期には前期比+7.3%と急回復し、同期の高成長を牽引していたが、10-12月期には逆に大きく足を引っ張る形になるだろう。一方で、輸入は目立った減少を見せず、前期比+0.5%程度になったとみられる（7-9月期：同+3.5%）。結果として外需寄与度は大幅なマイナスが見込まれ、前期比で0.6%ポイント程度、前期比年率で2.6%ポイント程度もGDPを押し下げると予想される。弊社で

は、こうした外需の下押しを背景に、10-12月期のGDPはマイナス成長に転じる可能性が高いと予想している（現時点での暫定予想は前期比年率▲1.5%¹⁾）。

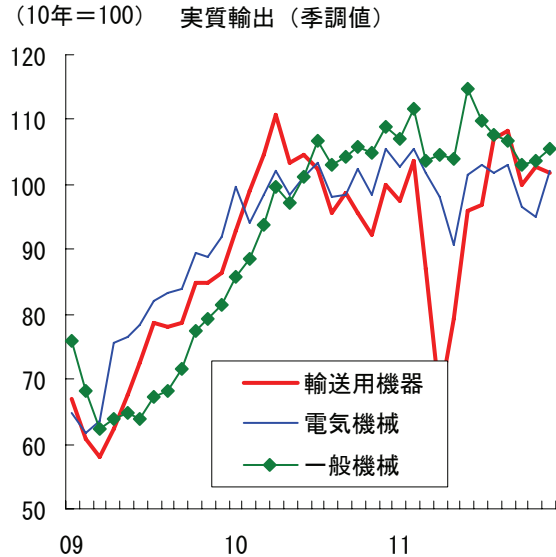
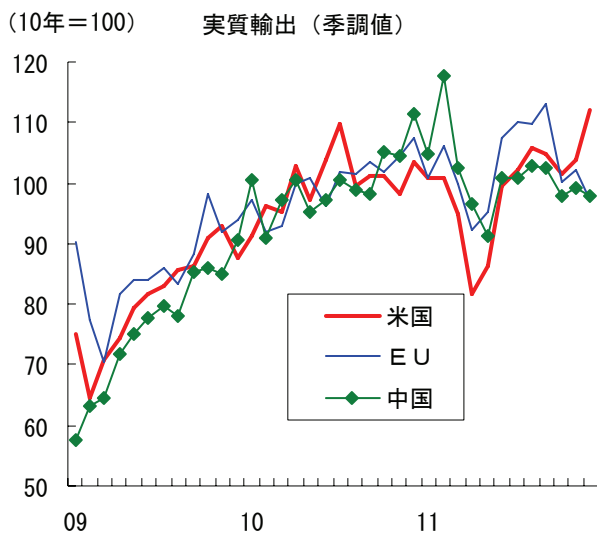
○ 当面、貿易赤字が続く見込み

こうした輸出の下振れに加え、輸入金額も前年比+8.1%と高い伸びを保ったことから、貿易収支は2051億円の赤字となった。季節調整値では5676億円の赤字と、9ヶ月連続の赤字であり、赤字幅も11月の5342億円から小幅拡大している。先行きについても、輸出の低迷が予想されるなか、輸入は高い伸びを保つとみられることから、貿易収支は当面赤字が持続する可能性が高いだろう。貿易収支が黒字に戻るのは、早くても、輸出の持ち直しが見込まれる年後半以降になるとみられる。

2011年の貿易赤字は2兆4927億円の赤字になった。通年で赤字になったのは1980年以来31年ぶりである。東日本大震災後の供給制約による輸出急減、秋以降の海外景気減速や円高、火力発電用燃料輸入の増加や資源価格の高止まりなど、様々な要因が影響している。

○ EU向けが弱い

実質輸出（実質化と季節調整は筆者）を地域別にみると、米国向けが前月比+7.9%と高い伸びとなった（11月も+2.4%）。比較的好調な米国景気を反映して、米国向け輸出は底堅く推移している。一方、EU向けについては同▲4.8%と減少した。10-12月期で見ると前期比▲10.1%と大幅な落ち込みとなっており、減少傾向が鮮明だ。欧州経済は先行き悪化が続く可能性が高いため、EU向け輸出の減少が今後の輸出の足を引っ張ると予想される。また、アジア向け輸出は同+1.4%となった。10、11月はタイの洪水により下押しされていたが、12月は悪影響が多少緩和された模様だ。ただし、均してみると依然軟調な推移が続いている。過去の金融引き締めの影響が残存していることや、アジアからの欧州向け輸出の低迷などが影響していると考えられる。



(出所) 財務省「貿易統計」

(注) 実質化と季節調整は第一生命経済研究所

¹⁾ 詳しくは、2012年1月18日発行「2011年10-12月期GDPの暫定予想」をご参照ください。なお、このレポートでは前期比年率▲1.3%を予想していたが、12月分の輸入が筆者の想定を上回ったため、予想数値を若干下方修正した。